

田中電気の情報発信NEWSレター

田中電気のお仕事紹介

株式会社WOWOW様

デジタル191～193ch・BS-5ch



屋上にある直径7.6mのアンテナ(写真左上)は、赤道上空36,000kmの衛星に向けてBSアナログ放送を行っています。このパラボラの厚みは積雪時に雪を溶かすための温風が流れる仕組みからとのこと。なるほど！

江東区辰巳にある、株式会社WOWOW様の放送センターへ行ってきました。マスタールームを含めモニター70台の入替え工事を行いました。放送状態の確認用としてモニターでチェックしています。マスタールームでは今、まさにこれから放送するテープがラックに準備されていたり、緊張感が漲っていました。

設立は昭和59年、放送開始は平成3年から。放送は、7割をVTR、3割を中継で行っているそうです。選りすぐりの映画は毎月約300本！スポーツ、音楽ライブ等24時間放送中です。地上デジタル放送のハイビジョン映像よりも解像度が高く、より綺麗な画質で楽しめるとのこと。



中継車は2台所有。イベント会場からハイビジョン映像、5.1ch音声のハイクオリティな中継を行っています。上質な番組作りがコンセプトとのこと。中継車、機材車、シャトルバスのナンバーは全て8080(ワウワウ！)



今回入替えしたモニター(写真右下)

『非常にスムーズに導入していただきました。アフターケアも対応してもらっています。引き続きご相談の際は、よろしくお願いします。』

(株)WOWOW 技術局技術計画部 嶋村 愉一様談

地上デジタル放送よりも高画質のハイビジョン映像と、高音質の5.1chサラウンド・ステレオで、映画館と同じ臨場感が家庭にいながら味わえます。

ちなみに現在スタート割実施中！

詳細・お申し込みは0120-808-369まで！

上記に関するお問合せは、**0120-150-712** または **info@tanaka-denki.co.jp**

秋葉原ファクトリーは田中電気のお客様のための窓口です

田中電気セレクト新製品

★お問合せはマーケティング部(担当渡辺)まで
→0120-150-712

NEW! 新製品情報

遂に登場! モトローラ特定小電力トランシーバー
交信距離: 市街地で100~200m 免許不要

『MS-50』 田中電気販売価格 ¥12,600(税込)

今回の新製品は、モトローラの特定小電力トランシーバー「MS-50」です。ビジネスからレジャーまで、免許不要であなたでも快適な通信環境を手にできます。特徴は軽量で4色のカラーを用意したスタイリッシュなデザインとリチウムイオン充電パック・充電器・可動クリップが付属したオールインワンパッケージです。水はねなどにも耐える生活防水仕様で、環境にも優しいエコロジー対応モデルです。

「MS-50」にご興味ある方には詳しい資料をお送りします!



カラーは4色です 弊社社員村田君もビックリの高性能です

NTTドコモグループ 総合防災訓練に行ってきました

11/5(木)、有明にある国営東京臨海広域防災公園という東京都の施設にて開催されました。この日は、東京湾北部にM7.3の地震が起こった設定で、自衛隊のヘリコプターも出動する大規模な訓練でした。

目の前にヘリコプターが着陸して、貸出用ケータイと充電器が運ばれてきたり、携帯電話の基地局が機能しなくなった時の為に日本全国にある移動基地局(車)が出動して、その場でぐんぐんとアンテナが伸びて通話の確保ができるようになる様子などを見学。ちなみにドコモユーザーは全国5500万人。わたし達の安心安全のため本格的な訓練は真剣そのものでした。



江戸の歴史

『泉岳寺』(せんがくじ)

シリーズ No. 35

泉岳寺は曹洞宗の寺院です。曹洞宗のご本山は二つあり、一つは道元禅師が開かれた福井県の永平寺、もう一つは横浜鶴見の総持寺です。道元禅師の主著は仏教の神髄を表した『正法眼蔵』という95巻に渡る書物です。

さて、泉岳寺は慶長17年(1612年)に門庵宗関(もんなんそうかん)和尚(今川義元の孫)を拝請して徳川家康が外桜田に創立した寺院です。(現在のホテルオークラの近く)

しかしながら寛永18年(1641年)の寛永の大火によって焼失。そして現在の高輪の地に移転してきました。時の将軍家光が高輪泉岳寺の復興がままならない様子を見て、毛利・浅野・朽木・丹羽・水谷の五大名に命じ、高輪に移転した泉岳寺は出来上がったのです。

浅野家と泉岳寺の付き合いはこの時以来のものです。

播州赤穂藩・浅野内匠頭公は勅使餐応役を幕府から命ぜられました。その役目の上司が吉良上野介です。

浅野内匠頭が接待に関して、吉良上野介に指導を仰いだのですが、種々の嫌がらせを受けたといわれています。ついに元禄14年(1701年)3月14日、浅野内匠頭は江戸城・松の廊下で刃傷に及んだのです。

予想に反して赤穂藩は改易。浅野内匠頭は即日切腹。しかも大名という高い位にもかかわらず、庭先での切腹でした。一方の吉良はお咎めなしとなったのです。そして家老・大石内蔵助を頭とした47人の武士が、本懐成就した赤穂義士たちは、亡き主君に報告すべく、内匠頭が眠る泉岳寺へ吉良の首級を掲げながら向かった。

討ち入りの翌元禄16年(1703年)2月4日に4大名(細川)(松平)(毛利)(水野家)にて切腹となりました。(交通は都営浅草線泉岳寺駅下車3分)



編集後記 今年も残すところあとわずか。忘年会の予約がすでに人気店では取りにくくなっていて驚きました! 年末といえば、毎年放映される忠臣蔵。泉岳寺に行くとき赤穂浪士のお墓47墓石が整然と並んでいるのを目の前にして感慨深かったです。吉良上野介の首を洗ったとされる井戸も現存していました。まるでタイムスリップしたかのような気持ちになりました。一度訪れてみては。